

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	349 寺田市民館事業経費	会計	01	一般会計
		款	03	民生費
		項	03	同和行政費
基本 施策	39 部落差別の解消に向け、同和行政を推し進める	目	02	隣保館費
		細目	213	隣保館事業経費
		細々目	53	寺田市民館事業経費
行革大綱の重点事項番号		担当者 氏名	高崎義昭	
担当部課	コード 名称	101300 寺田市民館	連絡先 (内線)	23 - 8728

### 事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	地域住民	※対象件数
成果(どうする)	講座・教室への参加や健康相談等を通して、健康の維持増進や交流を深める。人権を主題とする催事や館の利用を通して、互いの交流を深める。	
根拠法令・要綱等	三重県隣保館事業費補助金交付要綱	
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
H22 事業 内容	1. 血圧測定、体脂肪測定等の健康相談と手芸・園芸教室等を同時開催し、健康の維持・増進を図った。	
	2. 市民館だよりを月1回発行し、館行事の周知と人権・同和問題の啓発を行った。	
	3. 文化祭や各種教室・講座を開催し、教養・文化や人権意識を高めると共に、交流を通して人権意識の共有を図った。	
社会情勢 の変化等		

### 整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

### 運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

### 事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
健康相談・健康づくりの会参加者数	人	25	目標	25	25	25
			実績	17		
文化祭・各種教室参加者数	人	700	目標	730	750	750
			実績	713		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
参加者に占める65歳以上の割合	%	参加者増が介護予防につながる	目標	20	20	20	20
			実績	17.6	18.5		
教室の参加者増	人	参加者増が教養・文化の向上につながる	目標	10	10	10	10
			実績	3	10		

投入コスト	直接事業費計(A)	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
Aの 財源 内訳	国庫支出金	835	889	1,017	1,017
	県支出金	405	483	483	483
	地方債				
	その他		35	35	35
	一般財源	430	371	499	499
事業投入人件費(B)		0.5人 3,600	0.5人 3,600	0.5人 3,600	0.5人 3,600
フルコスト(A)+(B)		4,435	4,489	4,617	4,617

### 事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	○
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	○
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
有効性	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	○
	民間のサービスだけでは地域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
達成度	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
効果性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
改善策	当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】
効率性	昨年(前年度)の聞き取り調査の結果をふまえ、開催内容、開催日等を検討する。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
昨年度の取組状況	【状況】	計画のとおり進んでいる
	【詳細】	
改善策	健康づくりの会への参加働きかけを、直接聞き取りや地域関係団体の協力を得ながら強化して行きたい。22年度中にアンケート調査を実施する。	
	【理由】	
事業の方向性	調査の結果から、健康づくりの会や文化祭への参加が、健康の保持・増進とともに、生きがいであり、楽しみの一つとなっている事が伺える。参加者を増やすことにより、疾病や介護予防につながるかと考える。継続することにより、健康増進とともに、地区内外の人の交流による人権意識の共有と向上が図られる。	
	【理由】	
現時点における課題、その他	地区内に一人住まいの高齢者や高齢者夫婦のみの世帯が増加している。	
	【理由】	
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	地区内の巡回健康相談の回数を増やすとともに、健康づくりの会の開催回数を増やす。	
	【理由】	

### 今後の方向性(Action)

担当課長氏名	高崎義昭	
事業の方向性	【方向性】	現状維持
	【理由】	
現時点における課題、その他	地区内に一人住まいの高齢者や高齢者夫婦のみの世帯が増加している。	
	【理由】	
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	地区内の巡回健康相談の回数を増やすとともに、健康づくりの会の開催回数を増やす。	
	【理由】	